

伊藤正徳 いとう せいとく 軍筆評論家。明治二十二年十月十八日茨城県生れ、
昭和二十七年四月二十一日歿（八八九—九二二）。大正二年慶應義塾大学
理財科卒。時事新報社入社、昭和二年編輯局長。のち『中部日本新聞』
主筆、共同通信社初代理専長、日本新聞協會初代理専長、時事新報社
社長等歴任。

著書『改造の戦心』（大正九年二月五日日本評論社出版部）、『新聞
生活二十年』（昭和八年十一月五日中央公論社）、『世界と日本一百
本外交の再建』（昭和十五年七月五日鱗書房）、『新聞五十年史』（昭
和十八年四月二十日鱗書房）『新日本文化叢書』（青木菊雄）小
傳（『昭和二十五年十一月二十三日青木とみ刊）、『恒子の思ひ出』
（昭和二十年五月二十五日食刊、慶應通信）、『大海軍を想ふ』（昭
和二十一年十一月二十五日文藝春秋新社）、『連合艦隊の栄光』（昭
和二十七年八月五日文藝春秋新社）、『連合艦隊の最後一付・連合艦
隊の栄光』（昭和五十五年十一月二十五日光人社）等。

